

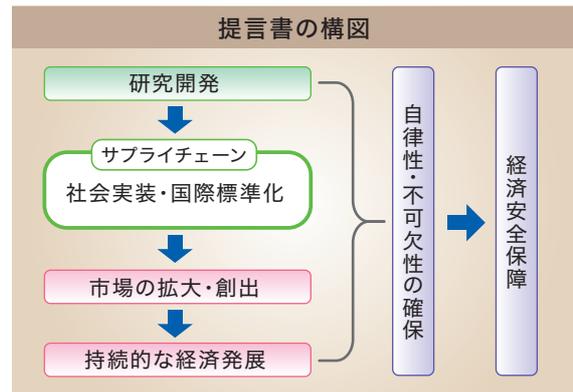
# 社会実装・国際標準化推進による持続的な経済発展に向けて ～経済安全保障への寄与～

中経連は、経済委員会(委員長:勝野副会長)において、提言書「社会実装・国際標準化推進による持続的な経済発展に向けて～経済安全保障への寄与～」を取りまとめた。今後、中部圏として実践すべきことに対し、産学官で連携して主体的に行動していくことを呼びかけるとともに、政府・与党、関係国会議員、経済産業省・内閣府をはじめとする関係省庁、国の出先機関、自治体、大学、経済団体など、関係各方面に提言していく。提言書の概要は以下のとおり。

## 1 策定の経緯

近年、世界中で産業構造やビジネス環境が大きく変化する中、国際標準化をはじめとしたルール形成が、社会的な課題の解決、新産業・新市場の創造、企業の経営戦略ツールなどとして注目され、世界的なルール形成競争が激化している。

国際標準化をはじめとしたルール形成は、市場の拡大・創出を目指すものであり、今後の持続的な経済発展のカギを握る。加えて、サプライチェーンにおける自律性ならびに不可欠性の確保につながり、経済安全保障にも大きく寄与する取り組みとして、提言書をまとめた。



## 2 提言書の位置づけ・ポイント

2022年度の提言書は、2020年度「コロナショックからの教訓と経済社会の変革」、2021年度「カーボンニュートラルの実現に向けた経済社会の変革」に続く3部作の位置づけとなる。

2020年度の提言事項「自立分散・循環型経済のネットワーク化による東京一極集中の是正」や2021年

度の提言事項「カーボンニュートラルの実現」を目指すなかで、研究成果や技術、ビジネスモデルを確実に社会実装し、国際標準を獲得してビジネス展開することが持続的な経済成長につながり、経済安全保障にも寄与する。

### 提言書のポイント

#### 経済安全保障：我が国の独立と生存及び繁栄を経済面から確保

##### ○基本的な考え方

- ①他国・地域に過度に依存しない我が国の経済構造の自律性の確保
- ②先端的な重要技術の研究開発の促進等により、他国・地域に対する優位性、ひいては国際社会にとっての不可欠性の獲得・維持・強化
- ③国際秩序やルール形成に主体的に参画し、普遍的価値やルールに基づく国際秩序の維持・強化

○提言書のポイント：国際標準化推進に関する取り組みは、上記の③に該当し、①および②に寄与する。

##### ○経済安全保障の鍵

- 最終的なサービスの価値を提供する企業と、それを支える技術を提供するモノづくり企業を、一体的なバリューチェーンとしてとらえ、様々な価値を提供する
- スタートアップ等からの研究開発成果を、実証から社会実装、国際標準・規格の取得へと確実につなげるためのファイナンスを含めた適切なマネジメントを行う

### 3 現状と課題(主な項目)

#### 研究開発から社会実装に向けて

- スタートアップから生み出される新たな技術や、カーボンニュートラル実現などのための広範な研究領域から生み出される多種多様な技術・システムの社会実装が課題。
- 開発から自立商用に向けた取り組みでは、公的資金による支援が難しいうえに、民間からの資金調達手段に限られるため、資金ショートが起こりやすい。どの段階において、どのような資金需要があるかを必ずしも明確化できていないことが課題。

#### ルール形成・国際標準化

- 日本企業にとってルールは従うものであり、自らルールをつくり、新たなマーケットを生み出すといった意識は低い。
- 欧州型の産業政策の特徴は、法律とルール形成を含めた社会の仕組みづくりにより、地域内産業の競争力を強化することにあり、環境政策の背後には必ず産業政策がある。標準化を国策として官主導で行っているが、日本の場合は民主導の原則がある。
- 多数の業界を横断して社会課題を解決し、新たな市場の創出を目指すような標準は提案が出されにくい。

#### 社会実装・国際標準化推進によるサプライチェーン高度化等

- サイバー層とフィジカル層の間の領域であるサイバーフィジカル層において、日本の複雑で面倒なタスクをこなせる現場(フィジカル層)での強みをもとに、デジタルを取り入れ現場システムを高度化させていくことが必須となる。
- 中部圏では多様な産業・技術の連携により新規領域にチャレンジし、国際標準を獲得するなどの産業・技術集積によるポテンシャルを生かす取り組みが求められる。

### 4 主な提言(呼びかけ) 【 】内は提言(呼びかけ)先

#### 研究開発から社会実装に向けて

- 目的・目標の共有や擦り合わせのための「共通言語」の活用、社会実装・標準化につながる研究開発等を行う。【産学官】
- 資金ショートを乗り越えるため、適時適切な情報開示などのファンドからの資金調達を視野に入れた取り組みのほか、投資対象として選定されるためには、自社技術をオープンにすることが求められる場合があり、オープン領域とクローズ領域の線引きなどの知的財産戦略を策定する。【産学官】

#### ルール形成・国際標準化

- 国際標準化をはじめとしたルール形成による市場拡大・創出について意識変革を図り、その市場創出の成功パターンと事例を関係者で共有したうえで、経営のあり方の検討にまで踏み込む。【産】
- ルール形成だけでなく、ルールが不利な方向で決まらないよう国際社会で立ち回るとともに、決まったルールに適切に対応する。【産学官】
- 幅広い業種横断的な国際規格策定は民間だけでは難しい。政府が中心となって、国際的なエコシステムを主導し、統合的な取り組みを展開する。【産学官】

#### 社会実装・国際標準化推進によるサプライチェーン高度化等

- 中部圏においては、製造業を中心としたサプライチェーンにおけるすり合わせ技術等による高効率・高品質等のフィジカル層の強みを、デジタル化により高度化・標準化し、システムとして海外に売り込むことを目指す。【産】
- 脱炭素に向けて、需要側と供給側の平仄を合わせた水素・アンモニアのサプライチェーンの構築と社会実装の加速化を図り、ビジネスと技術の両面から国際標準化していくことを目指す。【産学官】

問い合わせ先: 調査部

内容の詳細については、中経連ホームページ (<https://www.chukeiren.or.jp>) をご覧ください